



大阪TOWNタウン



奈良の春日大社から約50⁺を踏破し「堺大魚夜市」の会場に到着した堺なんや衆の一行



「堺県横断ウォーク・ラリー」のルート

春日大社から50⁺の道のり

半年以上かけゴール

市民「堺なんや衆」が達成

「堺のまちづくりを提言する「堺なんや衆」(岡田明寛理事長)が今年一月から取り組んできたイベントで、故事のルートを逆にしたどり、春日大社でタイを奉納したあと、竹内仁徳陵などを訪れ、最後は堺大魚夜市ののぼりを掲げながら会場に到着した。

その行動範囲が、明治時代に存在した府南部と奈良県在住で全行程に

参加した湯浅美弥子さん(左)は「普段は車で通り過ぎる道をじっくり歩くことで、町のたたずまいや歴史をあらためてかみしめることができた」と満足そうに話していた。

今回のイベントを企画した奥竹正さんは「参加者にとってこのラリーが、歴史的背景や文化に興味を持ち、好奇心を発揮する場になれば幸いです」と話していた。

(豊野由磨記者)